

彙報 平成七年七月～九月

真宗総合研究所

◇一般研究

◎「日本思想の歴史的総合研究」研究会

七月二十日(木) 午後六時

第二研究室分室一

「近世における〈哲学〉という名前と概念—デカルトからヘーゲルまで」

須藤 訓任 助教

真宗学会

◇真宗学会例会

七月十八日(火) 午後四時一〇分

於 多目的ホール

「古今楷定の精神」

博士課程一回生 一條 顕良

「涅槃の真因」

博士課程一回生 平原 晃宗

◇「親鸞教学」第六十六号発行

(一九九五年七月三一日)

〔目次〕

真宗大学の特質

— 慶応義塾との対比(上) —

延塚 知道

浄土真宗における「業・宿業」の問題

— 「浄土論註」を中心として —

安藤 文雄

現代的宗教と真宗

— 「浄土真宗」の課題 —

木越 康

如来等同の一考察

— 「教行信証」信楽釈における「涅槃

經」の文の意義 —

鎌倉仏教と「涅槃經」

— 親鸞聖人・道元禪師・日蓮聖人を中

心にして —

無上仏と阿弥陀仏

— 入出二門の源泉 —

悲喜の交流

— 和讃の諸問題 —

— 仏教学会

金子 大榮

◇研究発表例会

七月四日(火) 午後四時十分

於 一一一〇教室

「元曉の『法華宗要』にみる一乘説」

博士課程三回生 徐 榮愛氏

「輪廻思想と仏教」 舟橋 尚哉教授

— 宗教学会

— 大拙忌 —

◇「大拙忌」記念公開講演会

九月三十日(土) 午後二時より

於 尋源講堂

「鈴木大拙先生に憶う」

本学名誉教授 大屋憲一氏

— 西洋哲学・倫理学会

— 公開講演会

◇公開講演会

七月二十一日(金) 午後二時四十分

於 第二会議室

「他我があるかのように……」

— カントの認識論 —

特別研修員 村山保史氏

「受苦による学び」教授 箕浦恵了氏

— 国文学会

— 国文学会

◇大谷大学「文藝学会」公開講演会

七月十二日(水) 午後一時

於 多目的ホール

「空海と『三教指帰』」河内昭田教授
「小説のすがた——近代文学成立期の
ふりがなと漢語」

高知大学助教授 谷川恵一氏
中国文学・国文学両分野の教員・学生
が多数参加し、盛会のうちに終了した。

英文学会

◇『英文学会会報』第二十二号発行

『ジョンサン・ワイルド』
(Jonathan Wild) における「偉大
さ」(greatness) の風刺 河井純子
Jane Eyre と Maggie Tulliver
——ふたつの女性像をめぐって——

村瀬順子

西洋文学研究会

◇『西洋文学研究』第十五号発行

『アフリカ農場物語』試論
——リンダルの奮闘をめぐって——

浅井千晶

With What Language and How

Do Wordsworth and Keats Ex-
press Their Experiences in Poetry?

Shudo Tsukiyama

W. B. Yeats's Duplication:

Plotinus and Daisetz Suzuki

Shiro Naito

国際文化学科

◇八月十八日～九月十四日まで四週間に
わたり、英国ランカスター大学での英
語学習に、多田教授引率によって三十
六名の本学学生を送りました。先方の
大学における Communicative ap-
proach による英語学習の成果をあげ、
全員元気で帰国しました。

幼児教育科

◇仏教保育総合研修会

七月十一日(火)～十二日(水)

研修テーマ「仏教保育を考える」

会場 東本願寺同朋会館(烏丸七条)

日程・内容

○七月十一日(火)

午前中、幼稚園・保育所をグルー
プに分れて見学。

午後二時、同朋会館入館。開会式の

あと、シンポジウム。講師は、信ヶ

原千恵子先生(だん王保育園保母長、

京都市保母会相談役・近藤正辰先

生(陶化幼稚園園長)・清藤裕子先

生(住吉保育園保母)。夜、グルー

プ討論・交流会。

○七月十二日(水)

午前中、グループ討論(総括)・清

掃奉仕。午後閉会式、解散。

訂正

『大谷学報』第七十五卷第二号に左記の誤りがありましたの
で、訂正をお願いいたします。

訂正箇所 誤

表紙

欧文表紙

1983 Chicago → 1893 Chicago

1983 Chicago → 1893 Chicago

訂